

……すべすべの肌を手に入れたい貴女に、 おすすめの治療法です。……



盛虹明 盛・美容外科院長

医学博士。南京医科大学卒業後、日本に留学。横浜市立大学医学部形成外科で勤務するなど、日本での16年間にわたる豊富な治療経験を活かし、2004年、上海に盛・美容外科医を開業。

ケミカルピーリングについて

酸の力で皮膚表面の角質を取り除き、皮膚の新陳代謝を促進

ケミカルピーリングは、美肌効果が高いスキンケアとして最近特に注目を集めている治療法です。角質層のごく薄い部分に作用するフルーツ酸(植物酸、AHAともいいます)を皮膚に直接塗ることによって、皮膚表面に残っている老化した角質層を取り除きます。古い角質を取り除く作用で、肌の老化とともに増えるシミやくすみ、小じわなどの改善や美白効果の期待。また、新しい表面細胞とコラーゲンの再生を促すことで、健康な皮膚が本来持っている「自然治癒力」を活性化し、皮膚の機能改善にとっても優れた効果も期待できます。5~6回をワンクールとして、繰り返すのが理想的です。あとは継続して月に1~2回程度で良いでしょう。ケミカルピーリングの効果としてよく「ベビースキンになる」という表現がされるように、自然治癒により再生した若々しい肌には、きめ細かさやハリ、潤いなどさまざまな機能改善が期待できます。すべすべの肌を手に入れたい貴女に、おすすめの治療法です。

にきび・にきび跡改善にケミカルピーリング

にきびの原因は肌表面の角質が厚くなりすぎること。角質が厚くなることにより皮脂の分泌する出口がふさがれ、皮膚が膨れてきてこれがにきびとなります。放っておくと菌によって皮膚感染を引き起こし、益々にきびが進行してしまう悪循環に陥ります。ケミカルピーリングは、この原因である余分な角質や厚くなった角質を取り除き、直接殺菌し、皮脂の出口を作り、皮膚の表面下から新しい細胞のターンオーバーを促すというのが目的です。にきび・にきび跡改善にはケミカルピーリングが良いとされています。

高濃度ビタミンC導入でお肌ツルツル

美容全般のために決して欠かせない成分と言えるのが、ビタミンC(アスコルビン酸)です。ケミカルピーリングと一緒にビタミンCを皮膚内に浸透させると、メラニンの生成、また色素の還元、コラーゲンの生成促進、活性酸素の除去などの効果により、肌にも大きな成果を上げています。イオン化された水溶液を微弱電流を利用して、皮膚の中に浸透させていくイオン導入方法を用いると、ビタミンCの皮膚への浸透を飛躍的に高めることができます。この治療、イオン導入は「針を使わない注射」と言われ、最近話題となっている治療法です。微弱な電流を流して、普段は皮膚から吸収しにくいビタミンやプラセンタを皮膚の深部まで浸透させ、しみやしわを改善し、瑞々しいお肌を取り戻すことができます。強力な美白、抗酸化作用のあるビタミンCは、イオン導入によって普段の50倍も浸透しやすくなると言われています。

盛・美容外科

詳しくは本誌リスティングページをご参照ください。



美しい素肌を手に入れたい貴女へ
医療機関のみで受けることができる
スペシャルスキンケアです

盛虹明 盛・美容外科院長

医学博士。南京医科大学卒業後、日本に留学。横浜市立大学医学部形成外科で勤務するなど、日本での16年間にわたる豊富な治療経験を活かし、2004年、上海に盛・美容外科を開業。

レーザー脱毛でヘアレス美人

薄着になり肌の露出が増えてくると、女性を悩ますのはムダ毛の処理。その方法はいろいろとありますが、レーザー脱毛に注目されている方は多いと思います。そこで医療レーザー脱毛に関する正しい知識を解説させていただきます。当クリニックでは、日本の厚生省が認可しているアレキサンドライトレーザーを使用。このレーザー光は毛根細胞内のメラニン色素に吸収されることによって毛根細胞を破壊します。ひとつの毛孔内には3~5個の発毛可能な細胞があり、これらが順に、成長期、退行期、休止期という周期を繰り返しています。レーザー光は成長期の細胞にのみ反応しますので、次の細胞が成長期を迎える時期、2ヶ月に1度の間隔で照射が必要です。1回ごとに毛は薄くなり、部位により多少の差はありますが、5回ほどでほぼ永久脱毛が完了します。治療前後の日焼けは禁物です。なぜなら、レーザー光線が日焼けのメラニンに吸収され、表皮が強く焼けるだけになってしまうからです。治療後は、毛穴もしまり肌がきれいになったと実感できるはず。医療機関のみ可能なレーザー脱毛で素肌美人を目指しましょう。

美しいお肌づくりにビタミンCの力

白く輝く肌はとても若々しく見せてくれますが、シミやくすみが目立つ肌は、なんとなく老けた印象を与えがちです。以前から肌に良いとされてきたビタミンCですが、サプリメントなどを飲んで摂取するよりも、微弱電流によってイオン化されたものを導入することで、その浸透率を50倍にまで高めることができるのです。その効果は①紫外線や活性酸素による遺伝子損傷を防ぎます。②メラニン生成をブロックするとともに、できてしまったメラニン色素を淡色化します。③真皮層のコラーゲン生成細胞を活性化します。高濃度のビタミンCイオン導入で、この季節の強い紫外線を浴びて疲れたお肌をリフレッシュさせてあげましょう。

盛・美容外科

詳しくは本誌リスティングページをご参照ください。



美しい素肌を手に入れたい貴女へ 医療機関のみで受けることができる スペシャルスキンケアです

盛虹明 盛・美容外科院長

医学博士。南京医科大学卒業後、日本に留学。横浜市立大学医学部形成外科で勤務するなど、日本での16年間にわたる豊富な治療経験を活かし、2004年、上海に盛・美容外科医を開業。

フォトフェイシャルについて

従来のレーザー治療法とは違い、シミや赤ら顔、にきび、毛穴など異なる症状にも光を当てることできれいにする、という新しい美肌治療です。貴女のお肌に若さと呼びさまし、つややかなハリと潤いを与えます。特に、あきらめかけていたシミ・ソバカスには、今まで得られなかった確かな美白効果を実感していただけるでしょう。また、沈着してしまったメラニンにダメージを与えると同時にコラーゲンの再生を活性化させるので、お肌が内側から美しく変わっていくのがわかりいただけるでしょう。施術時間も短く肌へのダメージも大変少ないので、終わってすぐに洗顔やメイクをすることができるのも特徴です。限られた時間を有効に使ってきれいになりたいと思うスマートな女性たちには最適なスキンケアといえます。フォトフェイシャルは医療機関でしか受けられない、高い効果と信頼を兼ね備えたワンランク上のスキンケアといえます。

なぜ光で治療できるか？

フォトフェイシャルの光が、肌トラブルの原因となるターゲット(メラニンや毛細血管など)に当たると、光のエネルギーが熱に変わり、ターゲットにダメージを与えます。フォトフェイシャルの光はターゲットのみに反応するため、素肌を傷つけることなく、トラブル部分のみにダメージを与えることができます。ですから、お肌への負担がほとんどありません。また、この作用によりコラーゲンなどお肌に有効な成分を作り出す繊維芽細胞の働きが活性化され、内側から自然に美しい肌がつくりあげられるのです。

レーザーとは違うやさしい光

光の刺激で肌トラブルを改善するというと、レーザー治療を連想される方もいらっしゃると思いますが、フォトフェイシャルの光はIPL(Intense Pulsed Light)と違ってレーザーとはまったく違います。肌の新陳代謝を活性化し、真皮のコラーゲンを増やすため、5回程度の治療で、年齢とともに失われたお肌のハリがよみがえったことが実感できます。治療時間は30分程度。肌へのダメージも少なく、治療後にすぐにメイクをすることができます。お顔以外のクビや胸元、背中、お尻など、身体のほとんどの部分も治療可能です。治療期間は目安として3週間おきに1回。継続治療は5~6回がお勧めです。1回で効果が出るものではありません。ケミカルピーリングと交互にすれば、より効果が長く続きます。

盛・美容外科

詳しくは本誌リスティングページをご参照ください。